

# 授業に新聞すくにも

## 勝山・平泉寺小

### 実践へ、教員7人研修

勝山市平泉寺小は8日、日本新聞協会NIE(教育に新聞を)アドバイザーを招き、同校教員対象に研修会を開いた。同市内の全小中学校は本年度から2年間、NIEに取り組む計画で同校では、この日が初めての活動。NIEの機能や学年に合わせた新聞の生かし方などに理解を深めた教員7人は「明日からでも実践したい」と意気込んでいる。(高谷優菜)



新聞を使った授業の具体例を教員に紹介するNIEアドバイザー＝8日、勝山市平泉寺小

総合学習の時間を使って展開している持続発展教育(ESD)の一環として、市内小中12校は本年度からNIE教育を取り入れている。研修会は教員の資質向上と授業力の向上を目的として開かれた。NIEアドバイザーで同市荒土小の道関直哉校長が講師を務め、実践してきたNIE活動の具体例を挙げながら授業に新聞をどう取り入れていく



のかのヒントを紹介した。低学年には記事を見せて読み聞かせたり、記事の言葉を端緒に解説をしたりする「新聞紙芝居」、高学年には思考・書く・読むなど複合的な力を育てるはがき新聞などの活動を取り入れるなど、学年と能力に合わ

せた取り組みを紹介した。道関校長は「学校行事を少し工夫することで新聞に掲載され、発信するNIEにつなげていくことができ。新聞を使った持続発展教育を勝山市から発信していく」と力を込めた。5、6年生の担任の齋藤

英市教諭は「児童らは新聞は難しいものというイメージを持っているが、工夫して身近なものにしていきたい。既に児童が取り組んでいるスピーチに新聞記事を使うなど、明日からでも少しずつ実践していきたい」と話している。